

## 令和2年度 第3回 富谷市協働のまちづくり推進審議会 会議録

日 時：令和3年1月29日（金） 15時00分～15時40分

場 所：富谷市役所3階 305会議室

参加者：富谷市協働のまちづくり推進審議会 出席委員8名 欠席委員2名

：富谷市 1名

：事務局 4名

### 1 開会（司会：市民協働課長）

### 2 会長挨拶（佐々木会長）

皆さん、改めましてこんにちは。今日のこの審議会、いよいよ最終日になるのですけれども、私も色々な委員会に関わっておりますけれども、これほどまでに委員の皆さんに汗をかいていただいた委員会というのは無いのではないかと思います。皆さんとしっかりと取り組んでまいりました。これまでパブリックコメントもありましたし、わくわくミーティングでも話し合いました。そして最後に市民協働セミナーでも関わった皆さんをお呼びして、皆さんでタイトルを決めたいということで、こちらの要望を聞いていただきまして、しっかりとタイトルを決めることが出来ました。

いよいよ今日は最終ということになりますので、しっかりと確認をいたしまして、終わりましたら市長へ答申ということもありますので、皆さんでお渡しをしたいと思います。

それでは、本日も委員の皆さんには遠慮なく忌憚のないご発言をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 3 市長挨拶（若生市長）

皆さんこんにちは。本日は第3回富谷市協働のまちづくり推進審議会ということで、本当にお忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、委員の皆様方には日頃から市政全般様々な形でご支援、ご指導、ご協力賜っておりますことを改めて心より御礼申し上げます。

只今、佐々木会長よりお話がありました、様々な審議会、委員会、参加している中で、これほど委員の皆さんに汗をかいていただいた会議はなかなか無いというお話をいただきました。まさに私自身も同じ気持ちでございます。令和元年にまずは、わくわく市民会議で市民協働のまちづくりの指針についてスタートしたところがございますが、元年度はいわゆる市民協働の懇話会という形で立ち上げさせていただいて、色々な意見をいただき、その上で令和2年度にこの審議会に諮問させていただき、正式に本格的なスタートをしたところがございます。通常の審議会であれば、数回の審議会を確認をいただいて、淡々と進めていくのですけれども、今回は、2日間で3回行ったわくわくミーティングにも皆さんにご出席いただきまして、また市民協働セミナーにもご出席いただいたということで、この審議会以外の部分にもご参加いただいて、ご協力いただきましたことを、心から厚く御礼申し上げたいと思います。本当にお陰様で皆さんのご意見や思いをたくさんいただいたものを最終案としてとりまとめていただきました。今日は最終の審議会でございますので、最後のとりまとめ、忌憚のないご意見をいただきまして、今日答申をいただけるこ

とを大変嬉しく思っております。そして、何よりも今回、会長として大変お忙しいところこの期間、本当に最初の段階からご指導賜ってまいりました佐々木会長へも心から感謝を申し上げまして挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございます。

※市長 退席

#### 4 審議事項

##### (1) (仮称) 富谷市協働のまちづくり推進指針 (答申案) について (佐々木会長)

それでは、議事に入っていきたいと思えます。今日の議事は一つだけです。(仮称)富谷市協働のまちづくり推進指針(答申案)を議題としたいと思えます。

これまで指針の作成、市長のお話にもありましたけれども、懇話会から始まりまして、当初はルールということで走っていたと、さらに遡れば、かつて総合計画で条例を作るという話からあったのですけれども、条例が無くても富谷の地域活動あるいはコミュニティビジネスなどの取組は、とみふらなどが出来て、どんどん出来てきて、むしろ条例が無くても、またルールというものが無くても、さらに促進させるようなもののほうが良いのではないかと大転換がありまして、そこから我々が頑張ってきたということになります。その結果としてここまで来ました。色々な計画には専門性というものがありますので、例えば外部のコンサルティングが入って計画を作っていくということですが、これは完全に事務局の皆さんが主体となって、我々も関わって行って、そこに市民が参加していくという形で、まさに協働という形で進めてきたと思っております。最後の最後に事務局の皆さんには、修正をしていただきまして、附属資料のところについては付け足していただきました。

それでは、事務局のほうからパブリックコメントを終えてからのバージョンアップだと思えますけれども、どの辺を直したかということを表にしてもらったので、それを基に簡潔にご説明いただければと思います。よろしくお願ひします。

##### (事務局)

それでは、今回の資料1の指針案について、パブリックコメント及び市民協働セミナーでのご意見を反映した部分について、本日配布いたしました対照表を使ってご説明させていただきます。対照表をご覧ください。

まず、修正No.Ⅱのタイトルとサブタイトルにつきましては、委員の皆様にもご出席いただきました12月22日開催の市民協働セミナーにおいて、参加者の皆様に決定いただきました「わくわく つながる わたしたちのまちづくり -富谷の協働ガイドライン-」に修正したものでございます。

続きまして、修正No.Ⅲの市の現状の②番でございます。こちらはパブリックコメントにおいて、「本市の特徴とも言える「団地造成により発展してきた市であり、それぞれに課題が見えてきている」という点の現状分析の追加が必要ではないか」というご意見があったため、ご意見を踏まえて、赤下線部分の「また、本市は、古くからの地域と全国各地から人が集まってきた新しい地域が融合してできたまちであることから、地域の課題も様々であり、とりわけ新しい地域においては、団地の開発時期の違いなどにより、それぞれに異なる課題が見えてきています。」を追加いたしました。

続きまして、対照表の2ページをご覧ください。修正No.㊦のこれから求められることの②番でございます。こちらはパブリックコメントにおいて、「多くの市民をまきこみながら」という表現は市側の目線での表現であり、④番の市民と共に取り組むというような表現を持ってきたほうが良い」というご意見がありました。この部分につきましては、これまで聴取してきた市民の意見を基にとりまとめた、市民の活動に関する記述であり、ネットワーキング、人と人の輪のようなつながりを意味した文言でしたが、今回のご意見のように、その意図が正しく伝わらないことが想定されるため、ご意見を踏まえて、「多くの市民をまきこみながら」を「多くの市民がつながりながら」に整理いたしました。

続きまして、一つ下の修正No.㊧のこれから求められることの④番、イでございます。こちらは、只今ご説明いたしました修正No.㊦の整理に伴いまして、「市は市民の自主的・自発的な活動をまきこみながら」を「市は市民の自主的・自発的な活動とつながりながら」に整理したものでございます。そのほかにもご意見をいただいておりますが、反映箇所は以上となります。

続きまして、資料1の指針案をお願いいたします。15ページをお開きください。指針案の15ページからは、参考資料ということで今回新たに追加させていただいている部分になります。内容といたしましては、15ページは総合計画の概要ということで、市の将来像である「住みたくなるまち日本一」を実現するための四つの基本方針を記載しております。

続きまして、16ページをお開きください。16ページと17ページにつきましては、本市における市民協働の取組等ということで、これまでの協働に係る本市の取組内容や関係法令の施行などについて記載しております。

続きまして、18ページをお開きください。18ページは本市における市民協働に関する現況ということで、まちづくりに関わる各種団体等の数や、協働事業の実施状況ということで、令和元年度事業について庁内調査を行った結果について記載しております。隣の19ページには、これまでの策定経過ということで、まちづくりの基本となるルールの策定にあたっての令和元年度からの取組の経過について記載しております。現時点で未定なのは、黒丸で表示してあります。

続きまして、20ページをお開きください。20ページには本審議会の委員名簿と審議会の写真などを載せさせていただいております。右下の部分には、本日審議会後に予定しております答申式の写真を載せたいと考えております。21ページから22ページにつきましては、用語解説ということで、指針案の中の分かりづらい文言について解説を載せております。説明は以上でございます。

### (佐々木会長)

ありがとうございました。おおよそ今ご説明いただいたところ、パブリックコメントあるいは議会等で意見がありまして、そこをどのように修正したのかということ、あるいはどのように対応したのかということをご対照表にまとめていただきました。場合によっては、私も対応の所にコメントさせていただいたということもあります。そして、附属の部分を付けていただいたということになります。

この修正部分に関してご意見等がありましたらいただきたいと思っております。

今日は確認という作業になるわけですがけれども大体おおよそ眺めていただいて、特に無いようですので、よろしいでしょうか。

それでは、コロナの状況もありますのであまり長々にというわけにはいかないの

ですけれども、せっかくですので、一言ずつコメントをいただきたいと思います。菅野委員からお願いします。

**(菅野委員)**

今回修正していただいて、先月の市民協働セミナーで決まったタイトル案もすごく良いなとぱっと見た印象で思って、そのほかの修正点についても、一瞬すっと入ってこない表現の所も読みやすい表現に変わっていたので、そこの対応をしていただいて、すごく読みやすい指針案になったのではないかと思います。今回の修正に対しての意見は無かったので、このままで良いものが出来たのではないかと思います。以上です。

**(佐々木会長)**

ありがとうございます。それでは、北野澤委員をお願いします。

**(北野澤委員)**

今回の資料が送られてきた時に、真っ先に最初にいただいた資料と一個一個照らし合わせて、どう変わっていったのだろうと見させていただきました。最初意見交換した時に、菅野委員と同じ様にここが引っかかるねとか、ここが少しおかしいねと言っていた所が全部クリアになっていて、すごく良い資料と言うか、良いガイドラインが出来たのではないかと考えています。私も社用で経済団体へ出向して、こういうものを作る時は、シンクタンクをお願いして、大部分をシンクタンクが作ったものを良いのではないかと話をするのですけれども、今回市民協働課の皆さんが相当苦勞されたのだろうと、たぶん夜も寝ないで、色々な悪夢に、初夢もきちんと見られなかったのではないかと心配をしていたのですけれども、このように良いものが出来るのにご一緒させていただいたということに関して、すごく光栄に思っています。次の段階で、これをやはりきちんと回していくように、回していけるように、色々な広報活動とかをやっていければ良いなと思っていました。ありがとうございます。

**(佐々木会長)**

ありがとうございます。では、増田委員をお願いします。

**(増田委員)**

本当に北野澤委員がおっしゃったように、私も市の色々な会議に関わっているのですけれども、一から作るというこの価値は、私は本当に良く分かっているつもりです。本当に大変だったと思うのですけれども、これだけ本当に一言一句自分達で考えたものということだと、例えば議会で質問されても、市民の方から質問があっても、その意図とか、なぜこうなったのかということ全部説明が出来ると思うのですね。もちろん完璧というのは、色々なパブリックコメントにもあるように、いきなり完璧なものにはならないけれども、職員の方達が皆自分の言葉でこれに対して答えられるというこの価値、本当に素晴らしいと思って、本当に拍手を送りたいと思っています。菅野委員がおっしゃったように、タイトルもぱっと見て、皆で考えた甲斐があったなと嬉しく思っています。対照表の1ページ目の所に「公助で行うべきことを市民側に押し付けているのではないか」という意見があって、確かに

この現況を読んで私も最初引っかかった所なのです。でもそれは逆に私達市民側が、これからは自分達でやっていかなければ駄目でしょうと、ここは言うべきところなのかなと、そういう意味で市民と一緒にやってきたからこそ、私達がここは私達が引き受けますと言える部分もあるのかなと感じています。本当にお疲れ様でした。

**(佐々木会長)**

村上委員お願いします。

**(村上委員)**

本当に何回か色々な意見を聞きながら、まとまるところにまとまるものだなと本当に感動しました。あれほど意見が出たところをここまでまとめて、言葉の表現一つですごく明るいイメージにもなってきたし、素晴らしいなと感心しています。当初は条例を作るとか、そういうところから大きく変化して、まさに一緒に協働してきたと会長もおっしゃっていましたが、そういう感じに作られた温かいガイドラインになったと思います。市民の皆さんと富谷市以外の所にも出して恥ずかしくない素晴らしいものになったのではないかなと思います。本当に市民協働課の皆さんにも汗と涙と時間と、本当にお疲れ様でした。以上です。

**(佐々木会長)**

今日は佐藤(怜)委員が残念ながら来られないということだったので、日諸委員にお願いしたいと思います。

**(日諸委員)**

私も資料をいただいて、収まるところに収まったなと思いました。この前のセミナーの富谷の協働ガイドラインという字を見た時にピシッとはまったなと嬉しく思いました。その中に自分も少しでも加わっていられたということに本当に感謝いたします。最初は呼ばれた時に何をすれば良いのかと思って、分からないままここに座らせていただいていたのですけれども、段々そういう意識が無くなって、自分も大変勉強になりました。市民協働課の方の資料の作り方も本当に素晴らしくて、最後にはやはりここの「多くの市民をまきこみながら」を「市民がつながりながら」とした所は、私達の意識もあるけれども、会議に来てくださっていた外部の方達もそういう意識を持って、そういう意見を述べて、最終的にここに収まったということを楽しみますし、これからこの資料が色々な所でどのような活躍と言うか、どういう動きをするのかというのが本当に楽しみで拝見したいなと、逆にわくわくします。本当に皆さんと一緒にやらせていただいて、ありがとうございました。以上です。

**(佐々木会長)**

では、佐藤(政)委員にお願いしたいと思います。

**(佐藤(政)委員)**

前回、怪我で来られなくて申し訳なかったのですけれども、今までずっと一昨年からはやらせていただいて、色々見させていただきました。我々は行政区長ですから、色々な文書は常に見ているのですけれども、どうしても市から渡される文書という

のは、上から目線とか、どうしても我々が分からない部分も多々あるような文書になっているのですけれども、今回、このような形で見させていただいて、なるほどなど、確かに我々目線で作ったのかなと、これであればどのような所に出しても、皆さんに見ていただいても喜んでもらえるのかなという気持ちになりました。大変ご苦労様でございました。

**(佐々木会長)**

それでは、平岡会長職務代理者をお願いしたいと思います。

**(平岡会長職務代理者)**

皆さんのお陰様でここまで来られたと思います。市民協働課の職員の皆さんも大変だったとっております。私も増田委員と一緒に市の色々な会議に出させていただいていたのですけれども、私が一番思った所は、市がまきこむのではなくて、私達が参加、私達がつながっていくというこの文章が印象に残っている所です。今までは市で勝手にやっているものに、私達は色々な代表でいるものですから、まだ理解はしているのですけれども、何もかにも市がやっているものに、流されているというところは正直ありました。土台があって、もう決まっているのに私達に意見を聞くというような、とりあえず意見を言わせるというようなことが多い気がしたので、これは本当に最初から皆さんで意見を出し合って、ここまでやってこられたのは素晴らしいなど、その中に入れて、私は一応職務代理者という形でやってきたのですけれども、皆さんどなたがやっても良いくらいで、どなたでも皆を引っ張っていけるメンバーだということも会長から聞きました。その位に会長から見ていただいてありがたかったです。

私と佐藤(政)委員は行政区長として、そういう立場から出たつもりだったので、すごく勉強させていただきましたし、これからの色々な活動にも役に立つなと思いました。本当に立派なものが出来て嬉しく思います。ありがとうございました。

**(佐々木会長)**

大学も学生達が卒業論文を書いているのですけれども、書き終わると一気にモードが切り替わって、卒業に向かっていく寂しい時期に入ってくるのですけれども、何となくこの審議会も卒業式が近づいているのかなという感じになってきました。もちろん大学生も卒業すると社会に羽ばたいていくわけですが、このガイドラインもいよいよ私達の手を離れて、羽ばたいていく段階となりますので、これからはしっかりと見守っていきたいと思います。

そしてまた、今回の皆さん方の意見を基に市民協働課のほうで、これから市報の場に地域の団体の事例を隔月で載せていくという予定で、今回は文字がベースですけれども、今度は事例が可視化されていくということで、これから塵も積もればということで、富谷の協働、あるいは市民活動の分厚さがしっかりと示されていくと思います。その結果として、住みやすいまちあるいは住み続けたいまちとか住みたくなくなるまちとなってくるのではないかと考えております。

それでは、審議会でございますので、皆様と決定をさせていただきたいと思えます。改めまして、本日審議いたしました答申案を、答申書として扱うこととし、私、会長から市長へ答申することとしてよろしいでしょうか。

※「異議なし」の声あり

それでは、異議なしということでしたので、これで進めさせていただきたいと思  
います。なお、最終的な答申書につきましては、後日皆様へ送付させていただきま  
すので、よろしく願います。これで審議は終了となります。本当にありがとう  
ございました。お陰様でスムーズと言うよりは、本当に熱の入った審議が出来まし  
た。心より御礼申し上げたいと思います。

それでは、事務局のほうにお戻ししたいと思いますが、今回本当に事務局メンバ  
ーの皆さんの汗と涙と悪夢ですか、それが無ければ成り立たなかったのも、委員の  
我々から拍手で事務局の皆さんに御礼をさせていただきたいと思  
います。それでは、お戻しさせていただきますので、よろしく願います。

## 5 その他

### (司会)

佐々木会長、ありがとうございました。また、委員の皆さまにおかれましても、  
ご審議をいただきまして、本当にありがとうございました。今年度予定してありま  
した審議会の開催は、本日が最後となります。改めまして、これまでのご審議に感  
謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

それでは、その他といたしまして、事務局から連絡がございます。

### (事務局)

今後のスケジュールについてお話しさせていただきます。

本日とりまとめていただきました答申書につきましては、本日の会議録の確認依  
頼の際に、一緒に送付させていただきます。なお、指針案の参考資料の部分につい  
て、何かお気づきの点などがございましたら、事務局までご連絡くださいますよう  
願います。また、来年度の審議会の開催につきましては、現時点で未定とな  
っております。開催時に改めてご案内させていただければと思います。なお、ご  
異動などで役職等が変わられた際には、お手数をお掛けいたしますが、事務局まで  
お知らせくださいますようお願いいたします。以上でございます。

## 6 閉会

### (司会)

それでは、皆様から何かその他としてございませんでしょうか。よろしいでしょ  
うか。

それでは、閉会の挨拶を平岡会長職務代理者からいただきたいと思  
います。願  
います。

### (平岡会長職務代理者)

今日で終わりなのですね。最初はこれで良いのかなど、余計な事は言わないよう  
にしようとか色々正直思いました。大体のものはもう決まっています、そこに私達  
が乗っかっていって、そういう会議が多いものですから、だけれどこれは、本当に  
一から皆さんで話し合ってきた、回を重ねるごとに皆さんとの交流、気持ちを通  
わせて、この仲間がすごく嬉しかったです。これからこの答申書を渡して終わるわ  
けですけども、また何かで関わっていたら良いなと思っています。本当に皆様

ありがとうございました。市民協働課の皆さん、本当にお世話になりました。ありがとうございます。

**(司会)**

ありがとうございました。以上をもちまして、令和2年度第3回富谷市協働のまちづくり推進審議会を終了いたします。本日は大変お疲れ様でございました。

以上